

自治体・交通事業者と関連する企業・団体の
「交通・都市・環境・エネルギー・福祉」関係の皆様へ



環境にやさしい交通を目指す取組みを表彰します！

EST 第16回 脱炭素交通大賞の 募集

EST 脱炭素交通大賞は、地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰するとともに、その取組みを広く紹介し、普及を図ることを目的として、EST 普及推進委員会※によって2009年度に創設された「EST 交通環境大賞」を発展的に継承し、「EST 脱炭素交通大賞」に名称変更した表彰制度で、今回で16回目となります。2020年には、わが国が2050年までにカーボンニュートラルを目指すことが宣言されるなど、近年、ますます環境対策の推進が求められていますが、**運輸・交通分野の脱炭素化は遅れているのが現状です。**

運輸・交通分野で環境にやさしい交通を目指す取組みをされている団体等から広く募集します。

※環境的に持続可能な交通(EST)の普及推進を目的として、2006年度にエコモ財団に設置された委員会で、学識経験者、関係団体、関係省庁等で構成されます。

- ✓ 自治体、企業、NPO等の団体が応募可能です。有識者、本大賞後援団体による他薦も可能です。
- ✓ 応募期間は2026年7月15日～2026年10月15日です。
- ✓ 大賞2点(国土交通大臣賞、環境大臣賞)、優秀賞、奨励賞を予定しています。
- ✓ 2027年4月頃に開催予定の第16回EST脱炭素交通普及推進フォーラムにおいて表彰します。

再生可能エネルギーを活用した空港とホテル間の送迎バス
(九州電力株式会社、鹿児島県知多町、おぎえらぶフローラル株式会社)



再エネ由来のE-メタンとガソリンのハイブリッド
運行が可能な
おでかけミニバス(株式会社IH1、福島県相馬市)



市内全域、10地域を走っているデマンド型乗合
タクシー(EV自動車)
(岡山県備前市、(旧)NPO法人スマイル・つるみ)



環境的に持続可能な交通

Environmentally Sustainable Transport

概要

主催等

- 【主催】 EST普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団（エコモ財団）
【後援】 国土交通省、警察庁、環境省、一般社団法人日本自動車工業会、公益社団法人日本バス協会、
一般社団法人日本民営鉄道協会、一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会
【協力】 公益社団法人土木学会、一般社団法人交通工学研究会、公益社団法人日本交通計画協会、
一般財団法人日本自転車普及協会、一般社団法人日本シェアサイクル協会

募集内容

地域の優れた交通環境対策の取組み **都市計画・福祉・エネルギー関係の人流・物流に関する取組みも対象です。**

応募資格

（自薦） 自治体、企業、またはNPO等※の団体 ※自治会等の任意団体も応募可能
（他薦） 地域の交通環境対策に関する有識者または本大賞の後援団体
本表彰制度では、複数の団体による応募や協議会での応募を奨励

応募方法

ESTポータルサイト(<https://www.estfukyu.jp/>)から応募書類の様式をダウンロードし、
必要事項を記入、必要書類を添付してEST普及推進委員会事務局（エコモ財団）に提出



審査

EST普及推進委員会にて実施

- 【主な審査基準】
- ・ 基礎的な事項（実績、新規性・独創性、適時性・話題性、普及可能性、経済性）
 - ・ 環境改善効果（対策の将来性、環境改善量、実施期間）
 - ・ 地域の持続可能性（環境面の評価、経済面の評価、社会面の評価）
 - ・ 各主体との適切な連携（自治体、交通事業者、地域住民、その他関連する団体等）
 - ・ 加点事項：地域の交通計画や既存の交通ネットワークとの関係（交通計画、都市計画）

賞の種類

- 【大賞】 最も優れている地域の交通環境対策の取組みを表彰（国土交通大臣賞、環境大臣賞）
【優秀賞】 大賞に準じて優れていると評価される取組みを表彰
【奨励賞】 地域に根ざし日々努力を重ねている団体の功績に対する表彰
個別取組みで顕著な成果を上げているものを表彰

ESTとは

環境的に持続可能な交通（EST：Environmentally Sustainable Transport）について、EST普及推進委員長（加藤博和名古屋大学大学院教授）による解説動画（YouTube）を公開しています。詳しくは右の二次元コードまたは下のURLよりご覧ください。

<https://x.gd/4RnMI>



スケジュール

- ・ 応募期間 2026年7月15日～2026年10月15日
- ・ 審査結果の公表 2027年2月
- ・ 受賞団体の表彰 2027年4月頃
（東京都内で開催予定の第16回EST脱炭素交通普及推進フォーラムの中で実施）

■ご参考（第13回から第15回までの受賞団体と取組み）

	賞	受賞団体名	主な取組みの名称
2025年受賞 第15回	奨励賞	株式会社IHI、福島県相馬市	国内初 コミュニティバスへ再エネ由来のe-methane供給
	奨励賞	岡山県備前市、(旧) NPO法人スマイル・つるみ	EVを使った住民主体による地域内移動サービスの全市展開
	奨励賞	九州電力株式会社、鹿児島県知名町、 おきえらぶフローラル株式会社	EVバスの導入・活用による離島の脱炭素化に向けた取組み
2024年受賞 第14回	大賞【国土交通大臣賞】	伊勢地域公共交通会議	再エネ由来の電力を使った電気バスの運行や公共交通の利用促進
	大賞【環境大臣賞】	一般社団法人陸前高田グリーンスローモビリティ、 陸前高田市	グリーンスローモビリティ（グリスロ）で実現する脱炭素と地域課題解決
	優秀賞	第一交通産業株式会社	全国タクシーEV化プロジェクト
	奨励賞	山口大学都市・社会システム工学研究室、 宇部市公共交通協議会、山口市	公共交通すざろくYAMAGUCHI
2023年受賞 第13回	大賞【国土交通大臣賞】	T-PLAN株式会社、一般社団法人姫島エコツーリズム	離島の課題に再エネと小型EVを活用した取り組み
	大賞【環境大臣賞】	鹿追町	「家畜ふん尿由来水素」を核としたESTモデル事業
	優秀賞	世界遺産石見銀山大森地区におけるGSMを中心とした 地域内交通整備事業コンソーシアム	世界遺産石見銀山大森地区におけるグリーンスローモビリティ（GSM） 「ぎんざんカート」の運行
	奨励賞	奥入瀬溪流利用適正化協議会、 奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会	奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト
	奨励賞	城崎温泉交通環境改善協議会	地域一体となった「そぞろ歩きルール」の実施
	奨励賞	和歌山県	WAKAYAMA800 ～サイクリングを活用した、持続可能な観光地づくり～

本件に関するお問い合わせ先：ご不明点などはお気軽に担当までご相談ください。

EST普及推進委員会事務局（公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 [担当：中道、岡本]）
お問い合わせフォーム：<https://www.estfukyu.jp/form1/>



公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation